

長期財務計画書（改善計画書）

2018 年 11 月

1. 法人基本情報

法人の名称	一般社団法人日本サーフィン連盟			
住 所	〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10 階			
電話番号	03-6434-7341			
代表理事の氏名	酒井 厚志			
事業年度	1月 1日 ~ 12月 31日			
事務局担当者氏名	氏名	宗像富次郎	役職	副理事長
メールアドレス	info@nsa-surf.org			

2. 組織

① 理事、監事、評議員			
	常勤常勤	非常勤	合 計
理事の人数	2 人	12 人	14 人
監事の人数	人	1 人	1 人
評議員の人数	人	人	0 人

② 会員	
会員区分（種類）	会員の数
正会員	約 10,800 人
オープン会員	約 1,820 人
	人

③ 職 員	
合計 6 人	(常勤： 4 人、非常勤： 2 人)

3. 財務状況の推移

(単位：千円)

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
経常収益計	116,226	108,586	124,759	142,723	194,967
経常費用計	119,192	110,903	133,311	139,012	190,241
経常増減額	-2,966	-2,317	-8,552	3,711	4,726
選手強化 NF 事業の補助割合	—	—	—	10 分の 9	10 分の 9

4. 事業の名称

① 公益目的事業名	
1	大会事業
2	
3	
4	
② 収益等事業名	
1	スポンサー事業
2	検定・講習事業
3	
4	

5. 財政基盤の強化に係わる問題点および改善課題

自主財源の確保及び拡大を阻害する要因（問題点） <記載内容> ① 問題点 ② 今まで取り組んできた実施計画 ③ 実施結果 ④ 反省点	① 継続的かつ安定的な財源確保に繋がる会員やスポンサーの増大がなかなか進まない。 ② 総務委員会が中心となり、各種大会やホームページを通じて会員の募集活動を行っている。スポンサー協力は事業委員会が中心となり、各種大会をはじめ常時募集活動を続けている。 ③ 日本代表選手『なみ乗りジャパン』へのスポンサー協力が 2016 年から始まり毎年順調にスポンサー金額が増大している。また、2018 年 9 月に開催された世界選手権大会においても約 9,000 万円のスポンサー協力を得ることができた。 ④ 会員は毎年半数が入替るが、現会員の更新率を上げる対策が今までとされていなかった。スポンサーも各種大会等の単発的な協力は増大しているが、連盟本体を支援するオフィシャルスポンサーの協力が伸びない。
H30 年度以降取り組むべき課題 <記載内容> 改善に向けて取り組むべき課題を簡潔に記載して下さい。	現会員の更新率を上げること、新規会員の開拓を進めること。 各種大会、日本代表である『波乗りジャパン』へのスポンサー協力を引き続き広げていくこと、及びオフィシャルスポンサーの数を増大させていくこと。 また、社会的に認知された競技へ発展させるために、これまで連携していなかった分野と協力しサーフィンの周知啓発を図る。

<p>実施計画</p> <p><記載内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 改善課題 ② 達成目標 ③ 実施計画 ④ 進捗の評価方法及び評価頻度 ⑤ 実施スケジュール ⑥ 実施責任者 <p>*記入欄が不足の場合には、別紙に記載し提出して下さい。</p>	<p>① 改善課題</p> <p>会費収入の増加、スポンサー収入の増加、その他の事業活動による収入の確保</p> <p>② 達成目標</p> <p>会費収入については、まずは事務局運営費を賄える分の増収を目指す。その後は毎年 1 割～2 割の増収を目指していきたい。</p> <p>スポンサー収入については、主催大会につき、国地方公共団体からの助成金を除いた部分の運営費用を賄える収入を確保できるようにする。オフィシャルスポンサーについても毎年 1 割～2 割の増収を目指していきたい。</p> <p>他の事業活動による収入については、検定・講習事業をより積極的に行い毎年 1 割～2 割の増収を目指す。また、啓発活動の意味も込めてサーフィン初心者をターゲットとしたスクール活動を始めていきたい。</p> <p>② 実施計画</p> <p>会費収入の増加については新規会員の確保とともに現会員の更新率アップの対策として、カード会社との提携を進めている。現在は郵便振込による会費徴収を行っているため会費振込に手間を要し、これが現会員の解約を促しているものと考える。この点を改善するためカード会社と提携し、会費の自動引落へ移行することにより現会員の更新率アップを見込む計画を進めている。</p> <p>現在、サーフィン関係の映画「ハナレイ・ベイ」が公開予定である。また、サーフィンアニメ 3 本が作成段階にある。「きみと波に乗れたら」、「WAVE」、「題名未定」があり、これまでにサーフィンへの関心が持っていない一般の方々をファンとして取り込む機会である。また、関連グッズの販売などの連携を進めている。NF としては協力体制を整え、監修という立場で側面から支援していく計画である。</p> <p>スポンサー収入の増加については、大手製菓会社のオフィシャルスポンサー参加の話しが進んでいる。サーフィンへの関心が非常に高く、日本サッカー協会のオフィシャルスポンサーである飲料メーカーのようなスポーツ団体の基盤構築を支援するスポンサーを目指しており、長期的に協力して頂けるものと考えている。</p> <p>他の事業活動による収入確保については、サーフィン初心者を対象とした「プールスクール」の各地での開催を計画している。当連盟へのスクール開催の要望が多いことから確実に需要はあるものと考えている。実施場所は各地のプールやウェーブプールを考えている。ほかに、大手燃料会社とのコミッショニング契約の計画が進んでいる。具体的には当連盟が新規の利用者を紹介した場合には、利用料の 1% を受取る契約となる予定である。当連盟の全国の会員網が当会社の新規開拓事業とマッチングするものと考えて</p>
--	--

	<p>いる。</p> <p>④ 進捗の評価方法及び評価頻度 上記計画を予算によりこみ、毎月の理事会において予算達成率を確認する。</p> <p>⑤ 実施スケジュール 2020 年東京オリンピックへ向けては、追加競技のサーフィンは注目されるものと考えている。この機会を捉えて財源の確保を図るために、長期のスポンサーを獲得するとともに、各種事業を拡充していく計画である。また、サーフィンアニメとの連携や国際大会の誘致などをふまえサーフィンの認知度を上げる計画である。 平成 30 年度 大手製菓会社のスポンサー獲得、日本代表へのスポンサー拡充、スクール事業の活性化、国際大会誘致 平成 31 年度 カード会社との提携による会員獲得の増加、サーフィンアニメとの連携、スポンサーの拡充 平成 31 年度 オリンピック機会を捉えたスポンサー獲得の拡充</p> <p>⑥ 実施責任者 宗像富次郎（当連盟副理事長）</p>
--	--

6. 事業実績見込み

単位：千円

	H30 年度	H31 年度	H32 年度
経常収益計	324, 101	392, 543	363, 355
経常費用計	317, 072	383, 113	327, 557
経常増減額	7, 029	9, 430	35, 798